

区分・種別	県指定有形文化財(絵画)		
名称	けんぼんちやくしよくちごだいしぞう 絹本着色稚児大師像 1幅		
所在地	今治市玉川町畑寺		
所有者	光林寺	管理団体	
指定年月日	昭和40年4月2日		
解説	<p>この画像は、縦76.5cm、横40.2cm、月輪の径は37.8cm、像高22.5cm絹本着色である。弘法大師幼年の姿を描いたもので、画面ほぼ中央の月輪中の八葉蓮華<small>れんげ</small>に乗り、向かって左斜め向きに両手を合わせ、着衣は童服に袴<small>はかま</small>をつけた姿である。月輪を2色に塗り分けている点に、独特の美しさがある。月輪は金切金で、内部を白・緑の2色、衣服は朱地に金泥<small>きんでい</small>で草花文を散らし、下着と袴は白、衣文線は墨、内線は淡朱、顔面は白く塗り、頬に淡紅、口唇には朱を点じ、頭髪、眉等は細筆で毛描きしている。蓮弁は金切金でふちどりし、緑、茶、白に上より塗り分け、芯は金泥で先端を白く彩っている。</p> <p>鎌倉時代後期の作といわれているが、確証はなく、画家も不明である。稚児大師の現存諸本は他にもあるが、その中でも時代が古く描写も優秀で、重要な遺品である。</p>		

